

## 展覧会のお知らせ

第3回 日本ステンドグラス作家協会展 “2013 名古屋”

会場 名古屋市 国際デザインセンター内 デザインギャラリー  
愛知県名古屋市中区栄3丁目 18-1

期間 2013年10月9日(水)~14日(月)

後援 愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会



2009年に京都から始まったJSGaAの展覧会は2011年の東京、2012年の横浜の企画展に続き今年名古屋での開催を迎えます。「あいちトリエンナーレ2013」のパートナーシップ事業にも参画。

会員数も少しずつ増え、公募による出展者12名を含む28名による53作品が展示されます。個性あふれる作品に出会える場となることでしょう。たくさんの方々には是非ご覧いただきたいと会員一同がんばっております。

## メンバー紹介

その6

相田信子 (アトリエ めろぐらの)


この度は貴協会にお迎え入れいただきまして誠にありがとうございました。

スローテンポな私ですが、皆様から大いなるパワーを分けていただき更なるステップアップを図りたいと願っております。どうぞよろしく願いいたします。

私のアトリエ名の「めろぐらの」はイタリア語で石榴の木を意味します。私が石榴が好きなのと、ジノリのティーカップに魅せられて石榴の実がいっぱい実りますようにと願いを込めて名付けました。

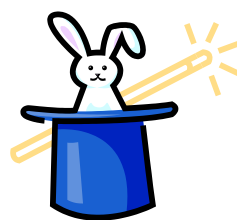
又、通常のステンドグラスの作品制作に加えてタイルと組み合わせたモザイクの作品制作にも励んでおります。そして陽の当たらない壁面を飾ります。皆様も是非お試し下さいませ。

## ホームページ更新のお知らせ

本会主催の展覧会をはじめ、会員作家の活動や会員の募集に関することまで。 [jsgaa](http://jsgaa.org/) で **検索**  各会員のホームページへもラクラクリンク。

<http://jsgaa.org/>

### ちょっと Tea Break



みなさんもグラスナギットを一度にたくさん使用することってありますよね。そんなグラスナギット使ったちょっとおもしろビックリなマジックをご披露します。

まずはいつものようにカップーホイルを巻きます。次に指を使い軽く押さえます。さあ、これからクライマックスです。プラスチック容器のなかにナギットを投入。蓋を閉めたらシャカシャカと振ってみます。暫く振った後、中味を取り出してみるとアウラ不思議なことになっている……!! 一度やってみて下さい。

### 編集後記

例年より10日程早い梅雨が明けたかと思うと途端に猛暑が続いた7月、4年ぶりに開かれる公募展の提出物の締め切りに間に合わせるため、カレンダーをチラ見しながら仕上がりまであと少しの作品と必死に格闘する私。きっと私だけではありませんよね。焦るとろくなことがないからギリギリにならないよう心がけてはいますが、そううまくはいかないものです。カウントダウンの時計を止めていざ提出へ。

\*\*\*\*\*  
本協会への入会、お問い合わせは事務局及び各会員まで  
お願いします。

\*\*\*\*\*

発行日 2013年8月10日  
発行者 日本ステンドグラス作家協会  
(事務局) 〒108-0074 東京都港区高輪4-2-7-201  
林 晶子 (A工房)

[jsgaa-a@nifty.com](mailto:jsgaa-a@nifty.com)

編集者 〒841-0004 佐賀県鳥栖市神辺町1589-3  
櫻井 由美 (ステンドグラススタジオ Y's COMET) Tel.0942-84-5546

日本ステンドグラス作家協会

Japan Stained Glass  
Artist's Association

日本ステンドグラス作家協会

会報誌

JSGaA

第10号

2013年8月 Vol.10



モネガーデン Shinohara Michiko

## 活動報告

### 通常総会

2013年4月15日(月) 名古屋市 国際デザインセンターセミナールームに於いて平成25年度通常総会を開催しました。



総会終了後に名古屋展の会場を視察。ギャラリーの担当者から説明を受け、展示のスペースや備品の確認をしながらそれぞれにイメージを作り上げてゆきます。

10月の展示会まであつという間です。益々忙しくなる業務もみんなで協力して確実に進めてまいりましょう。

10月の展示会まであつという間です。益々忙しくなる業務もみんなで協力して確実に進めてまいりましょう。

### 実行委員会の開催

2013年3月22日(金) 第3回名古屋展実行委員会

2013年5月20日(月) 第4回名古屋展実行委員会

2013年8月5日(月) 第5回名古屋展実行委員会

### 担当役員交代のお知らせ

2013年度より以下の通り業務担当者を変更しましたのでお知らせします。

役職 : 監事  
退任 高橋陽華  
新任 櫻井由美

これまで高橋会員が経理と兼務になっていました。監

事の職務上、他の業務からの独立性を確保するため交代となりました。

## レポート

### その 1

#### 2013・18th 国際公募アート未来展



6月26日(水)~7月8日(火)の期間、東京の国立新美術館で開催された国際公募アート未来展。毎年この時期に開催されるアート未来展は今年で18回を数え、創造且つ斬新な芸術活動を積極的に促進して国際文化の交流にも努めています。絵画、彫刻、工芸で244点が展示されました。



本協会員のなかからも毎年何名もの方が出展していますが、今年は高橋陽華会員の入賞をはじめ林晶子、舩越文恵、姉崎敬子、滋野晶江、櫻井由美の各会員が入選しました。



写真提供  
スタンドグラス工房アトリエM 滋野晶江

### その 2

#### 未来につながるスタンドグラス

佐賀県鳥栖市に今年6月に開業した九州国際重粒子がん治療センター(通称 SAGA HIMAT)はがんの先進治療

である重粒子線を使った治療を行う病院で、千葉、兵庫、群馬に続く国内で4番目の施設です。いまや国民の二人に一人が罹ると言われる「がん」ですが、その治療法は日々進歩し、選択肢もひとつとは限りません。特に放射線治療は身体への負担が少なく、通院でも可能ということもあり仕事を長期に休む必要がなく日常生活への影響も小さくて済むことから近年たいへん注目されています。

とはいってもがんを患った患者さんたちにとって精神的な負担が減るのかといえば決してそうではありません。治療を受けるにあたっては多くの不安があるのも現実です。

そんな時、訪れたこの病院のエントランスでは心安らぐスタンドグラスが迎えてくれるのです。周りの木々に溶け込むように、木漏れ日が降り注ぐように見る人を包んでくれます。そしてスタンドグラスの優しさと力強さが病気への不安を小さくし、明日への希望を生む手助けをしてくれることでしょう。



「生きる」と題されたこの作品は、幅約14メートル、高さ約2.7メートルで、本会の会長 三浦啓子氏によって制作されました。すりガラス状に見える大きなガラスはこの作品の為に焼成されたもので、細かな気泡が幾重にも重なることで奥の中庭の気配を僅かに感じさせてくれます。グリーンとクリアだけで構成された色彩が建物と見事に調和しています。変な言い方かもしれませんがそれがスタンドグラスであることを忘れてしまうように自然にそこにあるのです。

SAGA HIMATでこの作品に触れる人たちにここからつながる未来があるように、私はこの作品を見てこれまでのスタンドグラスの概念から一歩進んだ、未来を予感させる作品に出合った気がしました。

文章・写真

